

東京フィル

スペシャル・アーティスティック・アドバイザー: チョン・ミョンファン

平成21年度 文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)
主催: 東京フィルハーモニー交響楽団 共催: 東京オペラシティ文化財団

Vol.1 **ROCK & BUGAKU** 監修 吉松 隆

アトム・ハーツ・クラブ組曲第1番 吉松 隆

…… 弦楽オーケストラによるROCK組曲

アメリカ Remix ドヴォルザーク(吉松 隆:編)〈初演〉

～ 弦楽四重奏曲「アメリカ」によるピアノとオーケストラのための

BUGAKU 黛 敏郎(1962)

…… 舞楽をテーマにした現代日本音楽の名曲がよみがえる

タルカス キース・エマーソン(吉松 隆:編)〈初演〉

…… プロGRESSIVE・ROCKの名作、オーケストラ版で登場

ROCK

JA道クラシック、始動

新・音楽の — New Classic Remix — 未来遺産

2010年3月14日(日) 15:00開演
※30分前開場

東京オペラシティ コンサートホール

指揮: 藤岡 幸夫 / ピアノ: 中野 翔太 / 監修: 吉松 隆



監修: 吉松 隆



指揮: 藤岡 幸夫



ピアノ: 中野 翔太

〔料金〕 S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 B席 ¥3,000 学生 各席 ¥1,000

〔発売日〕 一般11/19(木) 定期会員最優先11/11(木) フレンズ優先11/12(木)

【公演・チケットのお申込み・お問合せ】
東京フィルチケットサービス

03-5353-9522

平 日: 10時～18時受付 土・日・祝: 休

<http://www.tpo.or.jp>

(24時間/年中無休) お席が選べます。※クレジットカード決済

オフィシャル・サプライヤー

SONY

SAMSUNG

日本サムスン

小野グループ

マルハ

ROCK BUGAKU

東京フィル 新・音楽の未来遺産
New Classic Remix vol.1 “Rock & Bugaku”

監修 吉松 隆



profile

吉松 隆

1953年(昭和28年)東京生まれ。作曲家。少年時代は手塚治虫のような漫画家か、お茶の水博士のような科学者になろうと思っていたが、中学3年の時に突然クラシック音楽に目覚め、慶應義塾大学工学部を中退後、一時松村禎三に師事したほかはロックやジャズのグループに参加しながら独学で作曲を学ぶ。1981年に「朱鷺によせる哀歌」でデビュー。以後いわゆる「現代音楽」の非音楽的な傾向に異を唱え、調性やメロディを復活させた「新(世紀末)抒情主義」および「現代音楽撲滅運動」を主唱、5つの交響曲や9つの協奏曲を始めとするオーケストラ作品を中心に、〈鳥のシリーズ〉などの室内楽作品、〈ブレイアデス舞曲集〉などのピアノ作品のほか、ギター作品、邦楽作品、舞台作品など数多くの作品を発表する。その作品は国内および海外で数多くCD化され、1998年からはイギリスのチャンドス(Chandos)とレジデント・コンポーザーの契約を結び全オーケストラ作品が録音されるなど、クラシックというジャンルを越えた幅広いファンの支持を得ている。また、評論・エッセイなどの執筆活動のほか、FM音楽番組の解説者やイラストレーターとしても活躍中で、著書に「図解クラシック音楽大事典」(学研)、「夢みるクラシック交響曲入門」(筑摩書房)、編著書に「クラシックの自由時間」(立風書房)などがある。

公式ホームページ:
<http://homepage3.nifty.com/t-yoshimatsu/>

このシリーズの裏テーマは「J A道クラシック」。「日本製(J A)」であると共に、お堅いクラシック・ファンからは「邪道」だと後ろ指さされるようなことも敢えてやってしまおうという意味が密かに込められている。

方向性としては2つ。ひとつは、私たちの国の作曲家たちが生み落とした名作と、新しい生まれだてはやの作品、つまり日本製の「新しいクラシック音楽(New Classic)」を提示すること。

そしてもうひとつは、本来オーケストラで書かれたものではない名曲(クラシック以外のジャンルも含む)を、「編曲・オーケストレーション」ではなくオーケストラ用に「リミックス(再構成)」し、新しいレパートリーを作ること。

この2つの「J A道」を極める第1回は、東西のビート音楽「ロックと舞楽」をテーマに4曲を取り上げる。

ゲートやシェークスピアの作品がいかに不滅の傑作であろうと、私たちが「面白

そう」と言っ手伸ばすのは、同じ国同じ時代に生きる作家たちの「新しい作品」。それは文学でも映画でも美術でも音楽でも同じはず。

ところが、この「常識」が通用しない唯一のジャンルが「クラシック音楽」。100年も200年も前に書かれたヨーロッパの音楽を繰り返し聴くだけという状況が続いている。これでは100年先の未来はない。

いや、だからといって「現代の音楽を聴きなさい」などというつもりは全くない。ただ、「なんだか知らないけれど面白そう」と思って新しい音楽が演奏されるコンサートに行く。そういう(むかしは当たり前だったはずの)楽しみを、100年の歴史を持つ東京フィルという第一級のオーケストラと一緒に、日本のクラシック音楽界に提供したい。それがこのシリーズに込めたささやかな願いである。「そんなのは邪道だ」と憤慨しながら楽しんでいただきたい。

【公演・チケットのお申込み・お問合せ】
東京フィルチケットサービス

03-5353-9522

平日:10時~18時受付 土・日・祝:休

<http://www.tpo.or.jp>

(24時間/年中無休)お席が選べます。※クレジットカード決済

●東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

●楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp>

●ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター 10:00~20:00) <http://l-tike.com>

●チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.co.jp>(Pコード:338-198)

●イープラス <http://eplus.jp>

【お願い】●演奏中及び楽章間の入退場はお断りしております。●やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更されることがあります。

●ご予約後のキャンセルはお受けできません。●公演中止の場合を除き、ご入金後の払戻しはいたしませんので、ご了承ください。●未就学児のご入場はお断りしております。